

論壇

「貿易自由化で被害」

市場経済活動が活発化すること
で格差が広がる。格差に不満を持
った多くの人が政治を動かして、そ
れまでの政治を壊すような動きに
なる。市場経済と民主主義は、し
ばしば衝突するものだ。こうした
ことは、過去に何度も、いろいろ
な形で、そして多くの国で起きて
きた。今回の米国で起きている現
象もそうだ。貿易自由化で大きな
被害を受けたと感じる米国の白人
の貧困層が、これまでの政治を全
否定するトランプ氏に投票した。

問題は、そうした人々の不満を
追い風に当選したトランプ大統領

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

が、公約してきた政策を行った時、
トランプ大統領に投票した米国の
貧しい人々が本当に貧困から救わ
れるのかということだ。海外から
の輸入に高い関税をかけ、海外か
らの移民に厳しい制限を課せば、
米国の経済は壊滅的な打撃を受け
ることになる。それで一番困るの
は貧困層であるのだ。

に反対であれば、政治は動くこと
になる。
もちろん、選挙だけが民主主義
ではない。韓国のように多くの国
民が大統領に批判的であれば、テ
モや革命でも政権はひっくり返る
ことがある。投票だけでなく、テ
モも革命も、ある意味では民衆が
方向を決める民主主義の形である

市場経済と民主主義

なぜ、市場経済と民主主義はぶ
つかるのだろうか。市場経済は、
時にごく一部のみに富や所得を集
中させる結果となる。ウィナー・
テイク・オール(勝者が全てを奪
ってしまう)と呼ばれる現象だ。
一方の民主主義は、全ての人が1
人1票を持つ。過半数の人が現状

の。ただ、そうした「民主主義
的」な決定が、民衆にとって好ま
しい結果になるとは限らない。
白人の経済的支配を批判して当
選したアフリカの黒人の大統領
が、民衆を抑圧する独裁者になる
こともある。韓国で起きているこ
とを見ると、今の大統領を引きず

り下ろしたからといって、その後
の韓国が今以上に悪くなるのでは
ないかと心配する人は多いはず
だ。米国の今後の見通しはわから
ないが、トランプ大統領の発言や
行動に不安を感じる人は多いだろ
う。

社会が安定してこそ

市場経済の活力を維持しなが
ら、大衆の運動によって社会が不
安定化することがないように、先進
国と言われる国は、格差是正のた
めのさまざまな制度を積み上げて
きた。失業保険や最低賃金などの
制度の導入、累進所得税で金持ち
から貧しい人への所得移転を進め
る、そして医療や教育などの制度
の充実によって国民の生活の質の
向上を図るなどの取り組みだ。

格差解消に努めることで、民衆
の不満を抑え、社会の安定化を現
現する。そうした社会の安定があ
ってこそ、市場経済の活力をフル
に活用することができるのだ。残
念ながら、時として、こうした政
策がうまく機能せず、社会は大き
く不安定化することになる。トラ
ンプ政権を支持する層と、それを
強く批判する層の間での大きな分
断が見られる米国の現状は、社会
を不安定化させる流れを感じさせ
る。
米国のことはさておき、日本も
こうした海外の動きから学ぶ必要
がある。市場経済を活用するため
にも、教育・社会保障・雇用など、
国民の生活を守る制度を強化する
ことがますます重要になってきて
いる。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。